

# Workspace ONE UEM (AirWatch) Android ガイド (入門編)

Workspace ONE UEM 2011 Web UI ベース

2021 年 1 月 4 日  
株式会社ウィザース

## 改訂履歴

ver.	発行日	改訂履歴
1.00	2018 年 8 月 29 日	初版発行
2.00	2019 年 3 月 14 日	第二版発行
3.00	2019 年 11 月 6 日	第三版発行 Workspace ONE UEM 1909 版
4.00	2021 年 1 月 4 日	第四版発行 Workspace ONE UEM 2011 版

※バージョン 9.4 より、コンソールの名称が " AirWatch Console " から " Workspace ONE UEM Console " に変更されました。

## 目次

<b>1</b>	<b>本書について</b> .....	1
<b>2</b>	<b>Android Enterprise</b> .....	2
2.1	Android デバイス管理機能と Android Enterprise の今後.....	2
2.2	お客様へのお願い.....	2
2.3	Workspace ONE UEM にて Android の名称変更.....	3
<b>3</b>	<b>Android 初期設定</b> .....	5
3.1	Android EMM 登録.....	5
3.2	Android EMM 削除.....	10

# 1 本書について

Workspace ONE UEM で Android デバイス を管理される方を対象に、新しい Android デバイス 管理となる Android Enterprise の初期設定手順について説明しています。

Workspace ONE UEM 管理コンソールの基本操作手順については、次の3つのガイドをご参照ください。 また、VMware 社のガイドも合わせてご参照ください。

- Workspace ONE UEM 管理コンソールガイド(入門編)
- Workspace ONE UEM 管理コンソールガイド(初級編)
- Workspace ONE UEM 管理コンソールガイド(機能編)

<VMware 社 Android ガイド>

[https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Android\\_Platform/GUID-AWT-AFWINTRODUCTION.html](https://docs.vmware.com/en/VMware-Workspace-ONE-UEM/services/Android_Platform/GUID-AWT-AFWINTRODUCTION.html)

## 2 Android Enterprise

### 2.1 Android デバイス管理機能と Android Enterprise の今後

Android デバイスに対するこれまでの EMM モデルでは、Workspace ONE Intelligent Hub は Android デバイスの「デバイス管理アプリ」(デバイス管理者)として機能します。これは Android OS の要件として、Agent が EMM API にアクセスするために必要な権限です。そして Android L からは、Android Enterprise (旧名称は「Android for Work」)を使用する新しい EMM モデルが利用可能になっています。この新しいモデルでは、すべての Android OEM デバイスで利用可能な標準の管理 API 群、パブリック アプリのサイレント インストール、ビジネス向け Play ストアを利用した効率的なアプリケーション管理、BYOD ユース ケースでの個人用データと仕事用データの分離など、さまざまなメリットが得られます。

Android Enterprise の普及を促すため、Google 社は最近のアナウンスで、将来の Android OS バージョンにおいて従来のデバイス管理機能による EMM モデルのサポートを段階的に縮小することを表明しました。Android O ではデバイス管理機能モデルと Android Enterprise モデルの両方が完全なサポートの対象ですが、Android P ではデバイス管理 API は(機能はするものの)サポート対象外となる予定です。さらに Android Q のリリースで、デバイス管理機能モデルは完全に廃止され、Android Enterprise だけがサポート対象となります。

Workspace ONE UEM 環境では、特にことわりがない限り、従来のデバイス管理機能による EMM モデルも引き続きサポート対象です。デバイス管理機能モデルで管理されているデバイスは、デバイス管理機能をサポートしていないバージョンにアップグレードしない限り、管理対象外になることも加入解除されることもありません。

### 2.2 お客様へのお願い

現在利用可能な Android バージョンのうち Android L ~ Android O はデバイス管理機能と Android Enterprise の両方の EMM モデルを完全にサポートしているため、現時点ですぐに実施していただく必要があるアクションはありませんが、2018年8月 Android 9 Pie がリリースされます。Google 社および VMware はデバイス管理機能モデルを使用している企業/組織に対し、最終的には管理対象の Android デバイスをすべて Android Enterprise モデルに移行するよう、計画し始めていただくことを推奨します。この移行においては、考慮すべき重要なポイントが 2 つあります。

1. Workspace ONE UEM 環境で Android Enterprise を有効にした場合、現在デバイス管理機能モデルで加入しているデバイスが Android Enterprise モデルに移行するには再加入が必要になります。また、「Work Profile」と「Work Managed」の 2 つの加入モード、なら

びにそれぞれのモードへの各種加入方法を評価し、貴社のユースケースに最も適した加入モードと加入方法を決めていただく必要もあります。

2. Android Enterprise を使用するデバイスでは、Intelligent Hub は Android Enterprise API にしかアクセスできないため、OEM 固有の API により提供されている機能はサポートされなくなる場合もあります。これは、Workspace ONE (AirWatch) コンソールからプロファイルを使って設定している機能の一部が利用できなくなることを意味します。

### 【参考情報】 Android OS のサポートバージョン

	Android 8 Oreo -	Android 9 Pie	Android 10 Q
Android API (従来)	サポート対象	機能はするが対象外	完全に廃止
Android Enterprise	サポート対象	サポート対象	サポート対象

### 2.3 Workspace ONE UEM にて Android の名称変更

Android Enterprise (旧称 Android for Work) は、企業での Android デバイス導入を促進するため、2015 年に発表されました。それ以来、Google ではほとんどの Android デバイスで使用可能な機能を Android Enterprise に実装してきました。UEM コンソール リリース v9.4 以降、Workspace ONE UEM では、簡素化された命名規則を採用しています。**Android for Work** は **Android** に名称変更され、新規加入時のデフォルトの加入方法になっています。従来の Android プラットフォームは、今後は **Android (Legacy)** と呼ばれます。

#### 重要

Android における旧来のデバイス管理 API 「デバイス管理者ベースの管理」(Workspace ONE UEM コンソールでの表記 Android Legacy) は、2022 年 3 月 31 日をもってサポートを終了いたします。

<https://kb.vmware.com/s/article/80971?lang=ja>

Workspace ONE UEM 2011 から、Android Enterprise が Android デバイスの既定の展開モデルとなりました。旧来のデバイス管理 API 「デバイス管理者ベースの管理」をご利用のお客様におかれましては、Android Enterprise への移行をご検討いただけますようお願いいたします。



## 3 Android 初期設定

Android デバイスの管理を開始するには、Workspace ONE UEM を自社のエンタープライズ モビリティ管理 (EMM) プロバイダとして Google に登録する必要があります。Google への登録はウィザードが用意されており、ウィザードに従って設定を行うだけで Google に登録が完了します。

### 3.1 Android EMM 登録

- 1) [グループと設定] > [すべての設定] > [デバイスとユーザー] > [Android] > [Android EMM 登録] をクリックします。  
次に [GOOGLE に登録する] をクリックします。



- 2) Google Play へリダイレクトされます。[ログイン] をクリックします。





3) Google アカウントの資格情報を入力してログインします。



※ご利用の Google アカウントの状態によって、「アカウントの保護」の画面が表示されます。必要に応じて「更新」を行ってください。必要が無い場合は「完了」します。

4) [スタートガイド] をクリックします。



- 5) 企業/組織名を入力し [次へ] をクリックします。

Google Play

## 企業 / 組織名

ビジネスの詳細情報を入力してください

企業 / 組織名

名前  
wizaas

企業向けモバイル管理 (EMM) プロバイダ  
VMware Workspace ONE UEM

前へ 次へ

- 6) 連絡先情報に必要事項を入力し [確認] をクリックします。

Google Play

は、Google のサービス内にあるデータのプライバシーやセキュリティに関する質問またはお知らせについてご連絡する場合に使用します。

この情報をまだご用意できていない場合は、managed Google Play の [管理者設定] から後で追加できます。

データ保護責任者

名前

メール

モバイルデバイス

EU 担当者

名前

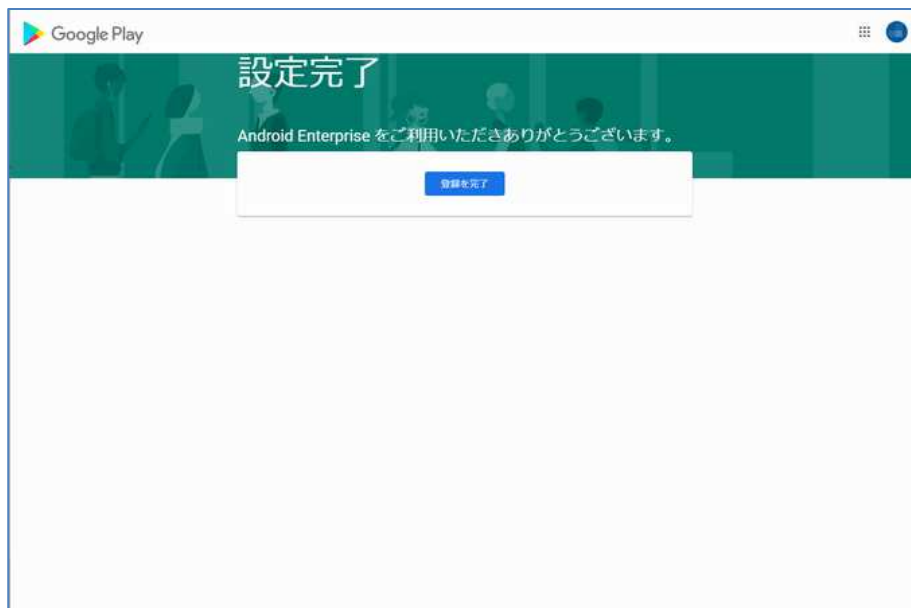
メール

モバイルデバイス

managed Google Play 契約を確認しました。この内容に同意します。

前へ 確認

7) [登録を完了] をクリックします。



8) Workspace ONE 管理コンソールへリダイレクトされます。



最後に [接続のテスト] をクリックします。

**サービス アカウントのセットアップに成功しました** と表示されたら正常です。



Android デバイスを加入する環境の初期設定は、これで終了です。

### 3.2 Android EMM 削除

- 1) [グループと設定] > [すべての設定] > [デバイスとユーザー] > [Android] > [Android EMM 登録] をクリックします。

次に [設定を消去する] をクリックします。



Workspace ONE UEM コンソール画面は Android EMM 設定前の状態に戻ります。



- 2) ブラウザから <https://play.google.com/work> にアクセスします。  
Android EMM の登録に使用した Google アカウントでログインします。  
[管理者設定] をクリックします。



- 組織の情報 欄内のメニューアイコンをクリックします。  
[組織を削除] をクリックします。



確認のメッセージが表示されます。**[削除]** をクリックします。

### この組織を削除しますか？

(組織 ) に関連付けられているすべてのアカウントとデータが端末から完全に削除されます。

有効な管理者が複数いる組織は削除できません。

**警告: この操作は取り消せません。**

キャンセル

**削除**

上記の削除作業を完了すると、Workspace ONE UEM と Android Enterprise との紐付けが削除されます。

Workspace ONE UEM (AirWatch) Android ガイド

(入門編)

Workspace ONE UEM 2011

ver. 4.00 2021 年 1 月 4 日

#### ご注意事項

- この文書に記載された製品の仕様ならびに動作に関しては、各社ともにこれらを予告なく改変する場合があります。
- 本文中にあるシステム名、製品名、およびロゴ等は各社の商標または登録商標です。